

会、市町村少年団体連絡協議会からの推薦者

(3) 講師・助言者

- ① 講師 福島市教育委員会社会教育課長 佐藤利三郎
須賀川市教育委員会社会教育課長 須釜 守幸
日本赤十字社福島県支部指導員 鈴木 好広
元福島県青少年指導員 菊地賢太郎
- ② 助言者 福島県教育庁社会教育課員・県中教育事務所員・福島県少年自然の家職員

(4) 内 容

- ① 講義・討議
「少年団体活動の今日的意義」
「少年団体の組織と運営」
「少年団体の現状と問題点」
「子供の遊びと地域の協力」
- ② 実 習
「活動プログラムの立案と展開」
「野外活動—オリエンテーリングの実際—」
「キャンプファイヤー」
「子供を守る条件と安全対策—救急法—」

4 青年団体指導者研修会

(1) 趣 旨

文部省が作成した「青年団体指導者研修基準」に基づき、青年団体の中級指導者養成を図るものである。

これら中級指導者が、急激な変化を続ける現代社会にあって、長期的な展望に立ち、創造的かつ充実した青年団体活動の推進ができるよう、団体活動の事業計画について、企画・立案し、実施できる能力を培うことをそのねらいとする。

なお、研修事業は前期・後期の二期に分けて実施するが、後期の研修は前期研修の終了者とする。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和49年8月22日～24日（前期）
昭和50年度 期日未定（後期）
- ② 会 場 福島県少年自然の家
- ③ 参加者 ア 市町村を単位とする青年団体・グループの内部及び外部にあって集団指導者となろうとする者
イ 青年団体・グループで、3年以上の活動経験のある者
ウ 市町村教育委員会が、これに相当する

④ 研修の期日・方法・内容

	事 前 研 修	現 地 研 修	事 後 研 修
期 間	8 月 6 日 ～ 8 日	9 月 8 日 ～ 14 日	9 月 15 日
研修地	福島県少年自然の家	島根・広島両県下	三井 荘
研 修 概 要	○ 青年国内研修の意義 ○ 福島県勢概要 ○ 福島県下青少年教育と青年団体活動の現況 ○ 島根・広島県勢概要 ○ 島根・広島県の青少年教育の概要 ○ 研修テーマの研究と確認	◎ 研修地における青年教育の現況と課題（講義） ◎ 研修地の諸施設・産業・諸活動等の見学（研究視察） ◎ 現地青年との情報交歓（討議） ◎ 研修テーマに基づく個別調査研究（研究）	○ 研修のまとめ ○ 評価と反省

経験を有すると認めたる者

エ 前期・後期を通して本研修会に参加できる者

以上の要件を備えている者 35名

(3) 講師・助言者

- ① 講 師 福島大学教授 徳田 安俊
福島県文化センター総務部長 丹野 清栄
三誠通信会津高田町工場長代理 竹ノ下寛一
- ② 助言者 福島県青少年教育指導員 市川 清純
福島県少年自然の家所員
福島県教育庁社会教育課員

(4) 内 容

- ① 講 義 「青年団体活動と社会参加」
「現代青年の意識と行動」
「会議の進め方」
「青年団体の組織」
「広報の役割」
- ② 討 議 「青年団体活動と社会参加」
「現代青年の意識と行動」
「青年団体の組織」
- ③ 実 技 「会議の進め方」
「広報の作成」
「体育（水難救助法）」
「レクリエーションの指導法」

5 青年国内研修

(1) 趣 旨

勤労青年が郷土振興についての諸活動を推進するため、勤労青年の代表を県外に派遣し、教育・文化・産業の諸学習活動等について、その地域の実状を調査研究・視察し、あわせて現地青年との交歓等を通して広域の経験交流を図り、広い視野に立った地域の青年活動を推し進め、地域に役立つ中堅青年の指導・養成を図る。

(2) 実施要項

- ① 実施主体 福島県教育委員会
- ② 協 力 島根・広島両県教育委員会
島根・広島両県下関係市町村教育委員会及び関係機関団体
- ③ 派遣先・人員 松江市、平田市、大社町
広島市、宮島町、福山市
青年団体活動班 7名
青年学級、教室等活動班 6名
計 13名